

主婦たちの体験が生んだ、素朴な喜びの記録

文部省選定

(青年向、成人向)

ふるさとに生きる 主婦たち



全 2 巻

配 給 教 育 映 画 配 給 社

企 画 静 岡 県 婦 人 団 体 連 絡 会
協 賛 静 岡 県 教 育 委 員 会
製 作 母 と 子 の 桜 映 画 社

製作 村山英治

原案 近藤雅邦

監督 村田達二

高木邦治

撮影 高野潤

音楽 渋谷修

録音 安部恒雄

解 説

庶民生活の底に深く根をおろした名もなき主婦たちも、今日では皆それぞれに考え、婦人の生活を向上させようというつよい願いを胸にいだいているが、そこにはそれこそ戦前にくらべたら大きな違い、大きな成長がみとめられるが、さて現実の生活がどれだけ変わったかとなると、敗戦をくぐっただけでは少しも変わっていない。女が家々に孤立しては、恐らくどれほど変わらないだろうと思ふ。

家族の無理解、部落の風習、主婦自身の心の中にもと、障害は幾重にも女たちをしばっている。

主婦の生活の向上は、一人ひとりの自覚も大切だが、それにもまして少数でもいい、グループで話し合い、それを実践に移すことによってこそ期待されていることを、この映画は幾つかの実例でオムニバス風に描いている。

特に実践活動に重点をおいて描いているところが、いままでの人間関係をテーマにしたものが多いこの種の作品と異なる点であり、活気のある力強いものになっている。ふるさとに生きる主婦の地についたたくましさを感じさせる異色作である。



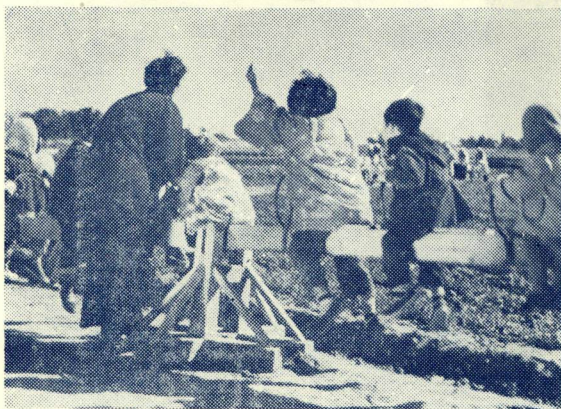
静岡県では、ふるさと町や村で進められている婦人会学習の、いわば中央教室的な新生活学校が、各都市にできている。そこには自分たちの地域地域の小グループでの体験が、近から集まる主婦たちの手で持ちよられ、披露されて、共感を呼び、爆笑をあげ、そしてともに伸びていく芽が見られる。

第一話。ある山村での話。いずこも同じでお姑さんに気をかねながらやっと集った主婦たちは、まず「自分を磨きましよう」というテーマで勉強しようということにした。テーマということば一つでも、新語辞典をひくさわざだが、それまたのしみだ。そして、よいことばを使うように努力したらという約束ができて、まずお父さんお母さんといままでないきちんとした呼び名に老人たちがくすぐったい顔をした。それにもましてめんくらったのは夫たちだ。「夫はあなたとよぶ」という話しあい、うちでもみかん山でも妻たちから「あなた」と明るくよばれて、返事もできずてれくさそうに、山道を逃げ出していくという、珍妙な「あなた」問答がもち上ったものだ。しかし、こんなことも人の心を明るくし、明日への足どりを軽くするものなのだ。

第二話。ある町のグループ。ここでは社会環境を明るくしようと努力する主婦の姿がみられる。町の清掃、花いっぱい運動。それに三島女郎衆の昔から、なかなか根だやしにすることのできない街の女たちの実態調査。でも実態を調査するにつれ問題は社会の中に根

強くひそんでいることを知り、主婦たちは勇気を出して前進していく。

第三話。ある漁村。漁がある時は、ついまとまった収入に気をゆるめがちだが、海にたよる生活は不漁の時はみじめだ。なんとかいつも平均した生活をもちたいと願う気持ちから、主婦たちは家計簿の活用を思いついた。が、もう一步、主婦たちの手でわずかも収入をうみ出そうと、温暖な気候を利用してレタスの清浄栽培をはじめた。はじめて見るレタスの種だったが、それでも三年めにはかなりの成果をあげた。いまでは、県外市場にも確固とした地位をしめるレタス産地にあげた。貧しいからといって単なるやりくりに終



らず自力で発展していった主婦の力。それはグループのみんなに支えられ、ふるさとへの伸びる泉になっている。

712 呎

価格 30,000 円

役に立つ映画

全国地域婦人団体連絡協議会

理事長 山高しげり

この映画は、先ごろ東京で開かれた、十年をかえりみる地婦連研究集会でも好評で大いに共感を呼び、また全国新生活運動優良地区実績発表大会でも上映されて喝采を浴びました。

戦後十年を経て、地方に生きのお母さんたちもここまで成長したかと目を見張ると共に、このような映画こそ私たちの生活にほんとうに役に立つ生きた教材だと思います。

フィルムの申込は

東京都中央区銀座西六ノ三（朝日ビル内）電話（五七）四七八六―七

株式会社 教育映画配給社

東京都八重洲三ノ五（横町ビル内）

電話（二七）七六一―二

株式会社 桜映画社

東京都中央区京橋二ノ一（荒川ビル内）

全国地域婦人団体連絡協議会

の、何れかにお願いします